授業科目　応用臨床栄養学実習

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	栄養
渡邊　榮吉	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	90

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

臨床応用栄養学は、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習、臨床栄養管理を統合し、臨床現場での体験を通して最も適切な栄養療法（栄養管理）を立案できることを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．臨床現場での病態と栄養の関わりを明らかにする。
2．課題へのアプローチとその対応策を立案する。
3．チーム医療おける他職種の連携について学ぶ。
4．対象とする症例における栄養療法の適用、処方の決定、効果の判定法を学ぶ。
5．レポート作成。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	事前オリエンテーション		
	課題へのアプローチ	1	学内での実習
	チーム医療における栄養サポートチーム介入による治療効果	2	学内での実習
	栄養評価と効果判定	3・4	学内での実習
	課題についてのレポート作成	4・5	学内での実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）				
参考書	認定NSTガイドブック	日本病態栄養学会編	医師薬出版	2004年 ¥3300
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
レポートによる評価	